



(明倫中学校 HP)



明倫



— 明るい心で 正しい道を歩む —

よし! やってみよう

令和8年度がスタートしました。明倫中学校の教育活動をワンペーパーにまとめたグランドデザインについて、2回に分けてお伝えします。まずは学校課題から。

今年度、学校課題を「よし! やってみよう」と設定し、「生徒どまんなか」で教育活動を推進します。

誰もが覚えやすいフレーズをと心掛けつつ、ここに生徒一人一人の「自己決定」と「挑戦」という願いと期待を込めました。

人に言われてやっていることは、なかなか身に付かず、成長につながりません。すべてのスタートは「自分の意志」です。

「どうなりたいのか」「どうしたいのか」

「決める」ためには、真剣に自分と向き合うことが必要で、それはときに苦しさを伴うことがあります。何かを選ぶということは、それ以外のことは一旦脇に置き去ることとなり、常に後悔の念が付きまとい、悩ましいことでもあります。

それでもよくよく考え、自分で決め「当事者」となることで、私たちは確かな成長に向けてのスタートラインに立つことができます。

そして、自分で決めた責任において挑戦し、トライ&エラーを繰り返しながら課題や困難を乗り越えていくことで、決して折れることのない、強くてしなやかな力を自分のものとしていくことができます。

教育活動の4重点

1 豊かな学級・学年経営を基盤とした生徒の居場所づくり

(1)ユニバーサルデザインの視点による生徒理解、学級づくり
(2)誰一人取り残さない多様な居場所づくり
(3)いじめを許さない集団の育成
(4)特別な配慮や支援を要する生徒の見取りと組織的対応

◎いじめ・不登校生徒への支援の充実 ◎校内不登校問題対策会議の充実
◆長期席生徒への手立て100% ◆不登校生徒数の前年比1割減

3 わかる・できる・楽しい授業づくり

(1)苫小牧市共通取組場面を具現化する校内研修の推進
(2)苫小牧市共通取組事項を基本とした授業づくり
(3)共感的な人間関係をつくる道徳科の充実
(4)ユニバーサルデザインを意識した授業づくり

◎市内共通取組事項・場面の具現化
◎授業での教師の言葉10%カット
◎1人1回公開授業
◆共通取組場面を意識した授業100%
◆不登校生徒数の前年比1割減

学校課題

自己決定

よし!

実行力・突破力・ねばり強さ

やってみよう

2 生徒・教師・家庭が信頼で結びつく安全・安心な環境づくり

(1)心理的安全性が担保された教育活動の展開
(2)「新・とまこまい学びの3か条」に基づいた指導の推進
(3)「加害者にも被害者にもさせない・しない」情報モラル教育の工夫・充実
(4)地域人材の活用による教育活動の充実

◎生徒と向き合う時間の確保
◎教育課程検討委員会の充実
◆「学校が楽しい」と感じる生徒の割合が80%以上
◆不登校生徒数の前年比1割減

4 小・中の連携・一貫した教育活動の推進

(1)苫小牧型小中連携教育 Tomakomai All-9の促進
(2)小・中における学力向上、カリキュラム連携の充実
(3)小・中における生徒指導対策の充実
(4)小・中における特別支援教育の充実

◎エリア経営会議・エリア部会の充実 ◎エリア研修会の充実
◆エリア研修会の参加100% ◆不登校生徒数の前年比1割減

□ ■ □ (令和8年度明倫中学校グランドデザインから)

「よし! やってみよう」を合言葉に、失敗を恐れず、人と比べることなく(比べるとすればその相手は過去の自分)、「過ぎた」ではなく「過ごした」と思えるような毎日を積み重ねていってほしいものです。

そのために、先生方は皆さんの意見や思いを「どまんなか」において、一人一人と向き合っています。

1年後、生徒の皆さんが「今」と比べて、これからどれだけ大きく成長し、変わっていくのか。とても楽しみです。(鏡)

PTA 役員の皆様 よろしくお祈いします

本年度の PTA 役員が次の通り承認されました。

令和8年度明倫中学校 PTA 役員	
会 長	
副 会 長	
事 務 局 長	
事 務 局 次 長	
会 計	
監 査	

5月の行事



- 8日(金) 1年心電図
- 11日(月) 1・2年保護者懇談(～15日)
- 12日(火) 3年修学旅行(東京等～14日)
- 15日(金) 3年回復休業
- 18日(月) 防犯教室(2年)
- 20日(水) 尿検査2次
- 21日(木) 体育祭特別日課開始(～28日)
内科検診
- 22日(金) 中央委・常任委
第1回英検 第1回CS会議
- 29日(金) 体育祭(開会式9:00、競技9:20:開始)
雨天時は6月1日(月)に延期

3年生男子、1年生男子に感謝状

日新小学校の校長先

生から、3年生の〇〇〇〇さんが、困っている高齢者に声をかけ、助けてあげていたと報告を受けました。また、別の日には、同じく教頭先生から、1年生の〇〇〇〇さんが、地震の影響で倒れてしまった男性を助けてあげていたと報告がありました。

その善意ある行動力に、助けられた方によって校長先生から『感謝状』が二人に贈呈されました。

↑〇〇さん

↑〇〇さん

スクールカウンセラー・心の教室相談員について

昨年度に引き続き、スクールカウンセラーの〇〇〇〇さん、心の教室相談員に〇〇〇〇さんが来校してくれます。心の教室相談員は、原則毎週水曜日と金曜日の週2回来校します。お昼休みなど気軽に来室してください。スクールカウンセラーについては、月1～2回来校します。5月は18日(月)の12:30～16:30来校予定です。カウンセリングを希望する方は、担任に希望する旨をお伝えください。

悩みごととは一人で抱え込まず、誰かに相談することが大切です。

北海道子ども相談センター等の相談窓口について

新年度が始まり1か月が経ちました。4月に入学・進級した生徒たちは、新しい環境の中、新鮮な気持ちで頑張ってきたことと思います。その中で大型連休を迎えるにあたり、連休や長期休業明けに不登校となる生徒が増加する傾向は全国的に見られます。悩んだ時に SOS が出せる窓口を知っていただくためにも、各種相談窓口を周知いたします。学校もちろんですが、様々な角度から子供たちの心のケアに努めていきます。

個人情報の取り扱いについて

4月13日15時にさくら連絡網でもお伝えしておりますが、学校行事での様子などを学校だよりや新聞などで報道されることがあります。また、取材の時に生徒のコメントとともに学年・氏名の掲載や、場合によっては写真などの個人情報が紙面に掲載される場合もございます。学年、氏名、写真などの個人情報の掲載を控えてほしいなどのご要望がありましたら、事前に学校へご連絡願います。

さくら連絡網での時間割や持ち物等の連絡について

学校を病気等で欠席した場合の翌週の時間割や持ち物等の連絡について、学校から個別にさくら連絡網で連絡させていただく場合がございます。届いた場合は、お子さんにお伝えいただけますようお願いいたします。

中学生向け
主な相談窓口

